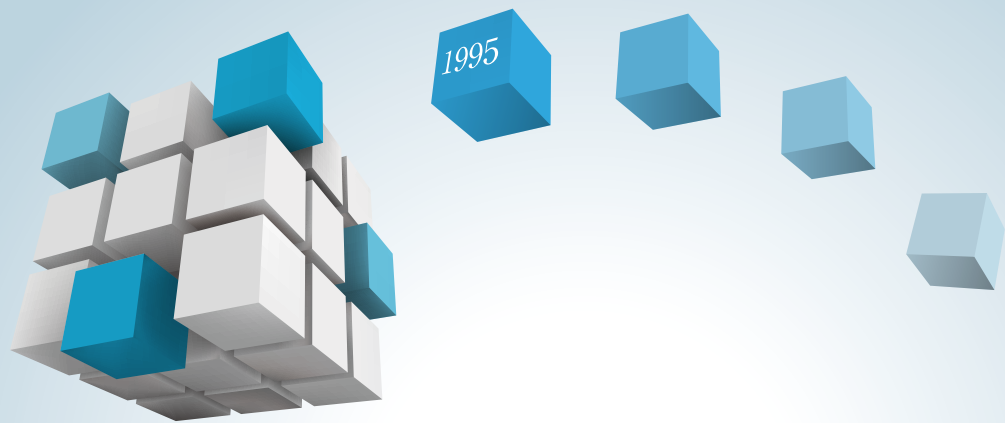




全国専門学校建築教育連絡協議会

創立20周年記念誌





創立
20
周年記念誌

CONTENTS

- 04 | ご挨拶
全国専門学校建築教育連絡協議会 会長 三上 孝明
- 06 | 祝 辞
全国工業専門学校協会 会長 堀口 一秀
全国工業専門学校協会 前会長 福田 益和
一般財団法人 地域開発研究所 理事長 柴田 高博
公益社団法人 日本建築士会連合会 会長 三井所 清典
- 10 | 20年のあゆみ(1995-2015)
- 14 | 実践的な職業教育を行う
新たな高等教育機関に向けた歩み(1995-2015)
- 16 | 秋季研修会(平成22年～26年)
- 18 | 専門学校卒業作品展示会ポスターコンテスト優秀作品
- 20 | 専門学校卒業作品展示会
- 22 | 教育活動報告会
研修発表会一覧(平成18年～24年)
「建築の技術を活かした地域活性化への貢献」
新潟工科専門学校 校長 仁多見 透
「BIM授業への取組」
麻生建築&デザイン専門学校 建築系主任 今泉 清太
- 24 | 歴代役員一覧
- 26 | 会員校一覧



全国専門学校建築教育連絡協議会
会 長 三上 孝明

この度、全国専門学校建築教育連絡協議会の創立 20 周年を迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます。

本協議会発足以来、我々は、職業人育成を旨とする専門学校、高等教育機関への社会的要求の急激な変化にさらされてまいりました。また、若年人口の減少と工業系志望者の減少を伴い、建設業界の不況に拍車をかけるように、負のスパイラルを生み、建設業担い手不足が顕在化するという強い逆風の中にありました。この 20 年の長きに渡る逆風の中、本協議会の活動を支えてきた原動力は、職業教育を担う専門学校としての職業人育成への使命感と熱い思いでした。諸先輩が築いてきた相互理解と協力体制により、法人の垣根を乗り越え、切磋琢磨し、建設業界が求める人材を育成し輩出してきましたことは、各会員校のたゆまぬ努力の結果であり、建設業界にとっても大きなメリットであったと自負するところです。しかし、顕在化した人材不足に充分応えることが出来ていない現状も直視しなければなりません。18 歳人口の減少に対し、建設業入職者増加を図るには業界及び行政との協力体制構築が必要不可欠です。

協議会 10 周年の節目において、既に大学に義務化されていた教育の質保障としての「自己点検・評価」をテーマとした活動を契機に、さらに精度を上げて、「教育質保障・見える化」を求められている現在、平成 26 年 4 月に施行された文部科学省の新認定制度である「職業実践専門課程」認定においても会員各校積極的に推進してまいりました。本認定におけるレギュ

レーションの要は「企業連携」であり、建設人材育成において会員各校の相互協力はもとより、会として積極的に業界を巻き込んで教育に当たらなければなりません。また、建設業諸団体、行政への働きかけが不足していることを反省するとともに、専門学校の特徴を強力にアピールしていかなければなりません。なお、教育の高度化が求められる中、職業実践専門課程に続く「職業大学（仮称）」という新学校種制定への動きを受け、「第三者評価」の取り組みとして、「分野別評価」構築に向けた検討を始めました。この活動が当協議会発足20周年の記念すべき年にスタートしますが、本協議会の歴史においても大きな節目となることを願っております。なにより、各校の特徴的な職業教育、建築教育をさらに際立たせながら、業界の求める優秀な人材を、まさしく産学連携して育成していくことが命題であり、使命と捉え、建設技術者育成に邁進していく所存です。

最後になりましたが、本協議会の親組織である、全国工業専門学校協会のご協力に感謝申し上げますと共に、本会立ち上げにご尽力いただいた諸先輩、会長役員各位、支えてこられたら歴代の会長である平川玄治先生、高橋茂男先生、堀口一秀先生ならびに歴代幹事役員の諸先生、学校関係者各位に改めて厚く御礼申し上げますと共に、今後とも皆様のご指導ご鞭撻をいただきますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



全国専門学校建築教育連絡協議会は平成7年3月に発足し、建築技術者試験への対応をはじめ総会、懇親会、研修会等活発な活動を通して会員校の交流を図り、平成17年10月に「創立10周年記念式典・祝賀会」を開催いたしました。

しかし、創立10周年以後残念ながら活動がやや停滞していることを危惧した高橋茂男 元会長は、幹事会で活性化に向けた検討を重ね、この流れを引き継ぎ平成21年より2期4年間、私が会長を務めさせて頂きました。まず会則の改訂により、外部企業に委託していた事務局業務を会長校の下に置き、その機能を強化いたしました。さらに、東西支部制を廃止し、役員、会議体、会費を見直しました。「競争と協調」をテーマとして掲げ、総会と教育活動報告会の充実を図り、加えて専門学校卒業作品展示会の学生によるポスター制作コンテストや、秋季研修会の企画等、新たな活動を展開することができました。会員各校の協力と意欲に支えられながら、本協議会の活性化に僅かながらでも貢献できたことは、この上なく幸せなことでした。一定の道筋を示すことができた判断し、以後の運営を三上孝明新会長に委ねました。

現在、建設業界のあらゆる分野において技術者、技能者の高齢化と人材不足が問題となり、若者や女性の技術者育成が社会的な課題となっております。この人材育成に大きな役割を担っている本協議会会員各校の実践的な職業教育の重要性は、ますます高まるばかりです。

専修学校制度制定40周年の記念すべき年に、本協議会は創立20周年の祝賀を迎えることができました。会員校一同に期待されている社会的使命を認識し、これまで積み重ねてきた努力をさらに発展させ飛躍してまいります。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



全国工業専門学校協会
(全国専門学校建築教育連絡協議会 前会長)

会 長 堀口 一秀

この度、全国専門学校建築教育連絡協議会が創立20周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。建築系専門学校の地位向上と教育内容の充実を図るべく、貴協議会の現在に至る功績は顕著であります。

20年前といいますと、不況の中で少子化の兆しも具体化し始めており、建設業界や建築系専門学校には厳しい逆風が吹きはじめた時代でした。そして現在の専門学校を取り巻く環境としましては「職業実践専門課程」の創設、さらに「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化」についての具体的議論の開始という、新時代に向けた風が吹いております。このような中で記念の節目を迎えられました事、大変意義深いことであり一層の期待を寄せております。

発足当時の平成7年に「建築施工技術者試験」という新制度が計画された際、所轄官庁や関係所轄団体からの「専門学校として対応する全国組織の設立要請」が契機となって、設立の運びになりました事はご存知の方も多いと思います。その後は全国の有力建築系専門学校の会員参加を得て、自己点検評価への取組み、研修会活動など、現在まで積極的かつ迅速に活動の手を広げて来られました。中でも毎年の総会に合わせて実施されている「教育活動報告会」では、各学校の職業実践的取り組みの具体的事例が惜しげもなく発表され、また関係官庁から講師を招いての講演会や各研修会開催など、会員相互の情報共有や連携、教育力向上を目的としたさまざまな活動が行われています。

変化の激しい社会環境の中で建築系専門学校がさらに発展、充実するために、貴協議会の役割は今後より大きなものになるであろうと推察されます。職業教育への関心と期待が高まる中、貴協議会が20周年という節目を機にさらなる努力を重ねられ、より一層社会に貢献されることを期待しております。

最後に、全国専門学校建築教育連絡協議会の益々のご発展を祈念申し上げます。



全国工業専門学校協会
前会長

福田 益和

このたび、全国専門学校建築教育連絡協議会が創立 20 周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

我が国において、東日本大震災の復興事業や 2020 年の東京オリンピック開催、またインフラの老朽化対策や維持管理等、建設業へのニーズはますます多様化しています。

その一方で、就業者数の減少という構造的な問題とも相俟って、建設業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものがあります。

これらの課題に対応するため、将来にわたる建設工事の適正な施工及び品質の確保とその担い手の確保を目的として平成 26 年に建設業法等の改正が行われました。

法改正の趣旨はまさに入職促進による人材の登用と優れた施工品質を確保すること、ひいては建設業の再生を図ることに他ならず、その実現のためには次世代を担う若い建設技術者の育成が不可欠であります。

貴会は社会基盤を支える優れた職業人を実践的に育成するという高い理念を掲げておられます。私ども一般財団法人地域開発研究所でも、この技術者育成という使命を共有する者として、長年にわたり 1・2 級施工管理技士の国家資格取得に向けた受験用テキスト、問題集の出版や受験講習会の実施等の社会人教育を行っております。その歴史の中で貴会のご仲介により講師を得る機会を賜り、教育メソッドのさらなる充実が図られていることに深く感謝の意を表します。

また、当財団からは若手建設技術者育成の後方支援の形で、専門学校生が在学中に取得することのできる 2 級建築施工管理技士(学科試験合格者)の資格取得に向けた受験用教材を貴会会員校に毎年提供させていただいており、これからもこうした強いパートナーシップを維持してまいりたい所存であります。

今後、少子高齢化が進む中で、建設業の発展のために産学官の連携のもと、貴会への期待とその果たす役割は今後より大きくなると思います。

最後に、全国専門学校建築教育連絡協議会ならびに会員校の皆様のますますのご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



一般財団法人 地域開発研究所
理事長 柴田 高博

全国専門学校建築教育連絡協議会が創立20周年を迎えられることに、心よりお慶び申し上げます。またかねてより、全国の専門学校の建築の先生方が横につながり、施工管理や設計を行う技術者の育成に努められていることに深い敬意を表します。皆様が手塩にかけられた若者達がやがて建築士となり、私どもの建築士会の活動に共鳴して地域貢献、社会貢献に取り組む未来を想像し、期待に胸ふくらむ思いです。

その建築士会は建築士である会員の相互啓発によって建築士の品位の保持及びその業務を遂行する技術の向上を図り、国土の整備、保全、地域社会の健全な発展等を目的に設立された団体であり、都道府県建築士会を会員とする全国組織が日本建築士会連合会でございます。

ところで、昨今の建設業界における課題は、建設業就業者数の減少と高齢化の進行でございます。若手入職者が減少し、2012年から団塊世代が65歳を迎え退職者が増加し、将来にわたり働き手が不足することを懸念しております。

そのような中で建築系教育機関では、学生の志望が意匠系（デザイン）に集中する傾向にあり、現実の求人状況との間にギャップがあることが分かり、施工系のものづくりを担う人材を確保していくため、多様なルートで社会に出ていく仕組みづくりの必要性を感じております。

高度化・複雑化する社会を支え発展させるために、建築業界と教育機関とが一層の連携を深め、建築系学科で学ぶ学生達に対し、現場見学会やインターンシップ等の魅力的な体験学習を通じ建築業界に触れる機会を積極的に提供し、将来の担い手となる人材を育成していく様々な取り組みを行わなければならないと思っております。最近では大卒者が改めて専門学校に入学し最新の技術を学び直すケースも見受けられます。社会を支えるさまざまな職業に就業するうえで、専門学校は大きな役割を果たしております。

我々建築士会は、建築設計業界や施工の建設業界に入職してきた若年者がキャリアパスや目標を抱け、OJTが担ってきた機能を補完するOFF-JTの推進や学生達に対する情報発信を進めてまいります。専門学校におかれましても魅力ある実習教育等の開発に関するご尽力を賜ります様お願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 日本建築士会連合会
会 長 三井所 清典



20周年のあゆみ(1995-2015)

	全専建協の歩み	教育界の出来事	社会の出来事
1995年 (平成7年)	3月 設立総会・第1回総会・懇親会(専門学校中央工学校) 会則、役員決定、施工技術者試験の対応 4月 建築施工技術者試験(仮称)についての事前アンケート調査 6月 平成7年度建築施工技術者試験(仮称)模擬試験実施報告書作成 第2回総会・懇親会(三井アーバンホテル大阪ベイタワー) 支部の設置、資格取得推進分科会の設置 建築施工技術者試験実施に伴う高校・専門学校への分担依頼 (建設業振興基金) (H8) 2月 第3回総会・懇親会(パシフィコ横浜) 建築施工技術者試験(仮称)対策委員会の設置	7月 専修学校制度20周年 記念式典・講演・シン ポジウム開催 (H8) 1月 職業人再教育推進協 議会発足	11月 ・Windows95 日本語版発売 ■野茂英雄投手、 大リーグで新人 王
1996年 (平成8年)	6月 第1回総会・懇親会(専門学校中央工学校) 建築施工技術者試験実施計画、支部の下部組織として 全国5ブロック会の設置 6月 第2回総会・懇親会(専門学校中央工学校) 建築施工技術者試験問題集作成検討会の設置 平成8年度建築施工技術者試験懇談会(アルカディア市ヶ谷) 建築施工技術者試験問題集作成を決議 問題集作成準備委員会を結成 11月 委員会開催「建築施工技術者試験問題集」作成のための中間報告 準備委員会は解散、編集委員会を結成 12月 第1回建築施工技術者試験実施	5月 生涯学習の振興につ いての文部省と日本 経営者団体連盟との 懇談会開催	7月 ・O-157、大流行 ・アトランタオリ ンピック開幕 ■DVD登場
1997年 (平成9年)	6月 第1回総会・懇親会(専門学校中央工学校) 鎌谷秀男会長から福田益和会長に引継 (H10) 1月 第2回総会・懇親会(修成建設専門学校) 平成10年度夏期研修旅行を福岡に決定	7月 専門士の称号を有す る留学生に就労への 在留資格変更を許可 12月 大学審議会が一定の 要件を満たした専門 学校卒業者に大学等 への編入学を認める 答申	4月 ・消費税5% スタート ・香港返還 ・土井隆雄氏ス ペースシャトル で宇宙へ ・長野オリンピッ ク開催
1998 (平成10年)	7月 第1回総会・懇親会(大阪工業技術専門学校) 田中英之介顧問退任 8月 夏期研修旅行 熊本 熊本城、水前寺公園等の見学 11月 第2回総会・懇親会(読売東京理工専門学校) 平成11年度夏期研修旅行、京都・奈良に決定	6月 学校教育法一部改正、 専門学校卒業者の大 学編入が可能に 12月 労働省「教育訓練給 付制度」開始	4月 ・明石海峡大橋 開通 7月 ・毒物カレー事件 ・土井隆雄氏ス ペースシャトル で宇宙へ (H11) ・ユーロ始動
1999年 (平成11年)	6月 第1回総会・懇親会(浅野工学専門学校) 建築施工技術者試験試験問題集収入を特別会計で処理 8月 夏期研修旅行 奈良 法隆寺・京都 慈照寺等の見学 (H12) 2月 常任幹事会(大阪工業技術専門学校) 平成11年から総会を年1回とする旨決議	10月 専修学校設置基準一 部改正、専修学校以 外の履修認定を大幅 に拡大 12月 「独立行政法人大学 入試センター法」公布 ■文部省、土曜日・夏休み専 修学校体験学習事業開始	6月 ・ソニーが犬形ロ ボット「AIBO」の 販売発表 (H12) 1月 ・Yahoo!店頭株市 場で一時1億円 の大火を突破
2000年 (平成12年)	5月 常任幹事会(修成建設専門学校) 平成12年度夏期研修会旅行の企画 6月 第1回総会・懇親会(大阪工業技術専門学校) 建築施工技術者試験問題集第1回改訂、記念事業の積立金計上 8月 夏期研修旅行 東京タワー、東京国際フォーラム等の見学	12月 全専各連「21世紀に 活躍する専修学校」振 興大会を開催、地位 の一層に明確化など 4項目決議 ■文部省、産学連携による専 修学校高度職業人育成総 合プロジェクト事業開始	7月 ・2000円札発行 ・沖縄サミット開催 9月 ・シドニーオリン ピック開催 10月 ・白川英樹氏ノー ベル化学賞受賞 11月 ・ホンダが「ASIMO」 開発

	全専建協の歩み	教育界の出来事	社会の出来事
2001年 (平成13年)	5月 常任幹事会（大阪工業技術専門学校） 平成13年度夏期研修会旅行中止 7月 第1回総会・懇親会（専門学校中央工学校） ブロック会を廃止・支部に統合	(H14) 3月 専修学校設置基準一部改正 各種学校規定の一部改正	9月 ・ディズニーシー開園 (H14) 2月 ・米同時多発テロ ・ソルトレイクシティ ・冬季オリンピック開幕
2002年 (平成14年)	5月 常任幹事会（読売東京理工専門学校） 7月 第1回総会・懇親会（大阪工業技術専門学校） 国土交通大臣への要望書、事務局の変更 施工技術者試験打ち合わせ会議（財建設業振興基金） 施工技術者試験廃止の件 9月 施工技術者試験廃止の件で国土交通省へ要望書提出	11月 中教審「新しい時代にふさわしい教育基準と教育振興基本計画のあり方について」中間報告 ■完全学校週5日制実施	4月 ・ペイオフ解禁 5月 ・サッカー、日韓共催ワールドカップ開幕 10月 ・小柴昌俊氏ノーベル物理学賞受賞 ・田中耕一氏ノーベル化学賞受賞 (H15) 3月 ・「千と千尋の物語」が米アカデミー賞受賞
2003年 (平成15年)	5月 常任幹事会（修成建設専門学校） 第1回総会・懇親会（東京工科専門学校） 福田会長から平川会長へ 10周年記念事業実行委員会設置 8月 第1回10周年記念事業実行委員会（読売東京理工専門学校） 9月 施工技術者試験打ち合わせ会議（財全国建設研修センター） 施工技術者試験廃止とその後の取り扱い 11月 第2回10周年記念事業実行委員会（読売東京理工専門学校） (H16) 1月 施工技術者試験打ち合わせ会議（財全国建設研修センター） 平成16年・平成17年施工技術者試験実施の件 2月 第3回10周年記念事業実行委員会（読売東京理工専門学校）	6月 「独立行政法人日本学生支援機構法」施行 7月 「少子化社会対策基本法」公布 8月 学校施設のバリアフリー化等に関する調査協力会議発足 11月 ものづくり体験教室全国大会開催 12月 中教審「新たな留学生政策の展開について」答申 (H16) 3月 中教審生涯学習分科会「今後の生涯学習の振興方策について」報告 第1回「ものづくり教育シンポジウム」開催	4月 ・アジアを中心にSARS流行 8月 ・住民基本台帳ネットワークが本格稼働 9月 ・阪神タイガース 10月 ・米カリフォルニア州知事にシュワルツネッガー氏当選 12月 ・地上波デジタル放送スタート (H16) 3月 ・六本木ヒルズの森タワーで男児が自動扉に挟まれ死亡
2004年 (平成16年)	5月 常任役員会及び第4回10周年記念事業実行委員会（読売東京理工専門学校） 6月 総会・懇親会（ウエスティンホテル大阪） 10周年記念事業 10月 第5回10周年記念事業実行委員会（読売東京理工専門学校） (H17) 2月 第6回10周年記念事業実行委員会 3月 第1回2級建築施工技術者試験問題集作成委員会（実教出版株式会社）	5月 「私立学校法の一部改正する法律」公布 「学校教育法等の一部改正する法律」公布 6月 「専修学校設置基準一部改正する政令」公布 「各種学校規定の一部を改正する省令」公布 (H17) 3月 「今後の専修学校教育の充実・振興について」報告	6月 ・道路公団民営化法成立 8月 ・アテネ夏季オリンピック開幕 10月 ・新潟で地震、上越新幹線脱線 11月 ・1万円、5千円、千円の新紙幣流通開始 (H17) 3月 ・愛知万博（愛・地球博）開催

	全専建協の歩み	教育界の出来事	社会の出来事
2005年 (平成17年)	5月 常任役員会及び第7回10周年記念事業実行委員会 (読売東京理工専門学校) 7月 総会・懇談会(読売東京理工専門学校) 10周年記念事業、問題集作成 8月 第2回2級建築施工管理技術者試験問題集作成委員会及び 第8回10周年記念事業実行委員会(実教出版株式会社) 10月 創立10周年記念式典・講演会を開催(建築会館) (H18) 2月 二級建築施工技術者検定試験問題集出版	7月 職業教育に関して、 日教組と経団連とが 意見交換 専修学校制度制定30 周年 8月 文部科学省、小中 生の全国学力テスト を平成19年から実施 一定の条件を満たす 専門課程の修了者に 対し「高度専門士」の 称号を付与できる制度 及び大学院入学資格 を認める制度を創設	4月 ・個人情報保護法 が施行 ・JR福知山線脱線 事故 6月 ・2006年ワールド カップに日本出 場決定 7月 ・スペースシャ トル「ディスカバ リー」打ち上げ 11月 ・耐震偽造問題 (H14) 9月 ・ライブドア堀江 社長逮捕
2006年 (平成18年)	5月 総会・講演会・懇親会(中央工学校OSAKA) 講演会: テーマ「専門学校をとりまく環境」 講 師: 大阪工業技術専門学校 理事長 福田益和先生 第6回専門学校卒業作品展示会開催(建築会館) (H19) 1月 教育活動情報交換会(専門学校中央工学校) 協会ホームページ立上げ 2級施工管理技術検定試験問題集作成	4月 薬剤師薬学教育6年 制に移行 11月 慶應義塾大学と共立 薬科大学が合併 12月 改正建築士法公布	11月 ・プレステ3販売 12月 ・任天堂より「Wii」 販売
2007 (平成19年)	7月 総会・見学会・懇親会(浅野工学専門学校) 平川玄治会長から高橋茂男新会長へ キリンビール横浜工場見学 9月 第7回専門学校卒業作品展示会開催(建築会館) 役員会(浅野工学専門学校) (H20) 3月 役員会(浅野工学専門学校) 2級施工管理技術検定試験問題集作成	6月 教育改革関連3法、可 決・成立 10月 学校教育法の改正に より、専修学校には自 己評価の実施・結果の 公表に関する義務、お よび学校関係者評価 の実施・結果の公表に 関する努力義務化	7月 ・参院選で自民党 惨敗 8月 ・米サブプライム問 題で世界の経 済・金融に混乱
2008年 (平成20年)	5月 役員会(浅野工学専門学校) 6月 第8回専門学校卒業作品展示会開催(建築会館) 7月 総会・教育活動報告会・懇親会(大阪工業技術専門学校) (H21) 3月 役員会(浅野工学専門学校) 2級施工管理技術検定試験問題集作成	6月 「産学連携による実践 型人材育成事業ものづ くり技術者育成」の公募 9月 平成20年度「社会人 の学び直しニーズ対 応教育プログラム」の 選定結果	5月 ・中国・四川省で 大地震。死者、 不明8万人。 6月 ・秋葉原無差別殺 傷事件 8月 ・北京五輪開催
2009年 (平成21年)	6月 役員会(浅野工学専門学校) 7月 第9回専門学校卒業作品展示会を開催(建築会館) 総会・教育活動報告会・懇親会(日本工学院八王子専門学校) 高橋茂男会長から堀口一秀新会長へ (H22) 3月 2級施工管理技術検定試験問題集新規発刊中止	5月 大学における厳正な学 位審査体制等の確立 の徹底について(通知) 7月 平成21年度国際化拠 点整備事業(グロー バル30)の採択拠点 の決定	6月 ・歌手のマイケル・ ジャクソン急死 8月 ・裁判員裁判がス タート
2010年 (平成22年)	6月 役員会(専門学校中央工学校) 総会・教育活動報告会・懇親会(東海工業専門学校金山校) 第10回専門学校卒業作品展示会を開催(建築会館) 役員会(専門学校中央工学校) 11月 秋期研修会(専門学校中央工学校) 一部: 講演「スカイツリー建設工事記録」大林組 二部: 専門学校活動報告・工業高校研究事例発表 (H23) 2月 第11回卒業作品展示会よりポスターコンテスト開始 3月 第11回卒業作品展示会ポスターコンテスト審査会 (専門学校東京テクニカルカレッジ) 協会PRパンフレットの作成	4月 第1回中韓大学間交 流・連携推進会議の 開催 6月 口蹄疫に係わる被害 世帯の学生に対する 支援策	4月 ・殺人事件の時効 が廃止 5月 ・上海万博が開催 6月 ・民主党・菅内閣 発足 9月 ・沖縄・尖閣諸島 沖で中国漁船と 海上保安庁の巡 視船が衝突

	全専建協の歩み	教育界の出来事	社会の出来事
2011年 (平成23年)	4月 第11回卒業作品展示会ポスターコンテスト結果発表 6月 常任幹事会(専門学校中央工学校) 総会・教育活動報告会・懇親会(日本工学院専門学校) 第11回専門学校卒業作品展示会を開催(建築会館) 8月 常任幹事会(読売理工医療福祉専門学校) 11月 秋期研修会開催 京都市内 特別拝観寺見学 (H24) 2月 常任幹事会(専門学校中央工学校) 第12回卒業作品展示会ポスターコンテスト募集 3月 第12回卒業作品展示会ポスターコンテスト審査会 (専門学校東京テクニカルカレッジ)	5月 平成23年度 第1回全国就職指導 ガイダンス開催 11月 平成23年度大学の 世界展開力強化事 業の採択事業の決 定について～ 日中韓「キャンパス・ アジア」パイロット事 業等が開始	6月 ・民主党野田内閣 誕生 7月 ・サッカー、なで しこジャパン世 界一 10月 ・米アップル創業 者ジョブズ氏が 死去 ・タイで大洪水
2012年 (平成24年)	4月 第12回卒業作品展示会ポスターコンテスト結果発表 6月 常任幹事会(専門学校中央工学校) 総会・教育活動報告会・懇親会(中央工学校OSAKA) 第12回専門学校卒業作品展示会を開催(建築会館) 8月 常任幹事会(読売理工医療福祉専門学校) 11月 秋期研修会(専門学校東京テクニカルカレッジ) 専門学校活動報告・工業高校研究事例発表 (H25) 2月 常任幹事会(専門学校中央工学校) 第13回卒業作品展示会ポスターコンテスト募集 3月 第13回卒業作品展示会ポスターコンテスト審査会 (専門学校東京テクニカルカレッジ)	5月 「専修学校の質保 証・向上に関する調 査研究協力者会議」 第1回開催 7月 平成24年度「成長 分野等における中 核的専門人材育成 の戦略的推進事業」 の採択先について	5月 ・東京スカイツ リー完成 6月 ・世界文化遺産に 「富岡製糸場」 10月 ・東京駅復元工事 完成 11月 ・高倉健さん死去
2013年 (平成25年)	4月 第13回卒業作品展示会ポスターコンテスト結果発表 6月 常任幹事会(専門学校中央工学校) 総会・教育活動報告会・懇親会 (新潟工科大学専門学校 学生総合プラザSTEP) 堀口一秀会長から三上孝明新会長へ 第13回専門学校卒業作品展示会を開催(建築会館) 7月 常任幹事会(読売理工医療福祉専門学校) 11月 秋季研修会 京都古民家見学と京都散策 (H26) 1月 常任幹事会(専門学校東京テクニカルカレッジ) 2月 第14回卒業作品展示会ポスターコンテスト募集 3月 第14回卒業作品展示会ポスターコンテスト審査会 (日本工学院専門学校) 協会PRパンフレットの作成	9月 大学・短大及び高等 専門学校卒業予定 者に係る就職 について(申合せ) (H26) 3月 職業実践専門課程	6月 ・富士山が世界文 化遺産に登録 される 9月 ・2020年東京五輪 開催 12月 ・マルハニチロの 冷凍食品から農 業検出
2014年 (平成26年)	4月 第14回卒業作品展示会ポスターコンテスト結果発表 6月 常任幹事会及び20周年記念事業準備委員会 総会・教育活動報告会・懇親会(修成建設専門学校) 第14回専門学校卒業作品展示会を開催(建築会館) 11月 常任幹事会 秋季研修会打合せ等 秋季研修会 専門学校中央工学校 軽井沢研修所1泊2日 (H27) 2月 常任幹事会及び20周年記念事業準備委員 (専門学校東京テクニカルカレッジ) 第15回卒業作品展示会ポスターコンテスト募集 3月 第15回卒業作品展示会ポスターコンテスト審査会 (日本工学院専門学校)	8月 平成25年度の「職業 実践専門課程」の認 定等 専修学校生への経 済的支援の在り方 について(中間まとめ) 9月 実践的な職業教育 を行う新たな高等 教育機関の制度化に 関する有識者会議	4月 ・消費税増税 6月 ・虎ノ門ヒルズ竣工 9月 ・御嶽山が7年ぶ りに噴火50人 以上が死亡 10月 ・ノーベル物理学 賞に赤崎勇、天 野浩、中村修二 の3名が受賞
2015年 (平成27年)	4月 第15回卒業作品展示会ポスターコンテスト結果発表 6月 常任幹事会及び20周年記念事業準備委員会 総会・教育活動報告会・懇親会 (専門学校東京テクニカルカレッジ・West53rd) 第15回専門学校卒業作品展示会を開催(建築会館) 11月 全国専門学校建築教育連絡協議会20周年記念式典 (アルカディア市ヶ谷)	5月 実践的な職業教育 を行う新たな高等 教育機関の制度化に 関する特別部会 (第1回)開催	4月 ・首相官邸の屋上 に小型無人機 「ドローン」が 着陸

実践的な職業教育を行う 新たな高等教育機関に向けた歩み(1995-2015)

1995年(平成7年)

- 専修学校の専門課程の修了者に対する専門士の称号付与に関する規程を施行(1月)
- 専修学校制度20周年記念式典、シンポジウム等を開催(7月)

1996年(平成8年)

- 生涯学習審議会「地域における生涯学習機会の充実方策について」答申。専門学校・大学への編入学について「必要となる要件などを含めて制度的な検討を進める必要がある」と提言(4月)

1997年(平成9年)

- 全国専門学校協会が「振興大会」を開催。専門学校卒業者の大学編入学の早期実現、専門学校設置基準の制定など4つの決議案を満場一致で採択(1月)
- 大学審議会、一定の要件を満たした専門学校修了者に大学編入学を認める提言を盛り込んだ報告をまとめる(9月)

1998年(平成10年)

- 学校教育法等の一部改正案が国会で成立。専門士に準ずる要件で、専門学校修了者の大学編入学可能に(6月)

1999年(平成11年)

- 文部省「専修学校設置基準の一部改正」の省令を公布、専修学校以外の「学修」大幅に拡大(10月)

2003年(平成15年)

- 全国専修学校各種学校総連合会が、専修学校制度が公布された昭和50年7月11日を記念して、この日を『職業教育の日』に制定(6月)

2004年(平成16年)

- 厚生労働省の「日本版デュアルシステム」が専修学校でもスタート(4月)
- 「今後の専修学校教育に関する調査研究協力者会議」文部科学省に設置(6月)

2005年(平成17年)

- 中央教育審議会が「我が国の高等教育の将来像」まとめる。一定の要件を満たした4年制専門学校の修了者に大学院入学資格付与盛り込む(1月)
- 今後の専修学校教育に関する調査研究協力者会議が最終報告まとめる。一定の要件を満たした4年制専門学校の修了者に新たな称号の付与、自宅におけるeラーニング授業の履修などを提言(3月)
- 専修学校制度30周年記念式典並びに記念展開催(7月/9月)
- 4年制専門学校の修了者に大学院入学資格、高度専門士の称号付与を官報で告示(9月)
- 4年制専門学校119校192専門課程に大学院入学資格並びに高度専門士の称号を付与(12月)

2006年(平成18年)

- 全国専修学校各種学校総連合会と全国学校法人立専門学校協会は7月14日、合同総会を開き「一条校化推進本部」を設置(7月)
- 教育の憲法といわれる「教育基本法」が60年ぶりに改正され、教育目標の1つに「職業及び生活との関連重視」が盛り込まれる(12月)

2008年(平成20年)

- 塩谷立文部科学大臣が「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」中央教育審議会に諮問(12月)

2011年(平成23年)

- 文部科学省により、産学間の連携・取組により、専門人材養成を戦略的に推進していく観点から、各成長分野における取組を先導する産学コンソーシアムを組織化し、中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤を整備する「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」がスタート(2015年現在事業継続)(9月)。



平成18年に改正された「教育基本法」

■中央教育審議会に「キャリア教育・職業教育特別部会」が設置され、キャリア教育・職業教育について本格的な議論がスタート（12月）

2012年（平成24年）

■中央教育審議会が「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」答申まとめる。「職業実践的な教育に特化した枠組みについて」明記（1月）

■中央教育審議会の答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」を受けて、専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議が文部科学省に設置され、専修学校の質保証・向上に向けて検討が行われる（4月）

■生涯学習政策局と高等教育局のワーキングチームが「専門学校の質的向上及び高等教育における職業教育の充実に係る方策やその進め方について（試案）」整理し、文部科学省の基本的な方針を示す（6月）

■自民党の安倍晋三総裁が政権公約を発表。

「職業教育に特化した新しい高等教育機関の創設」盛り込む（11月）



「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」社会基盤分野コンソーシアム

2013年（平成25年）

■専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議が「職業実践専門課程」の創設について～職業実践的な教育に特化した枠組みの趣旨を生かした先導的試行～（報告）まとめる（7月）

■「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（平成23年1月31日 中央教育審議会答申）」、「教育振興基本計画（平成25年6月14日 閣議決定）」及び「職業実践専門課程」の創設について（平成25年7月12日 専修学校の質保証・向上に関する調査研究協力者会議報告）」における提言等を踏まえ、「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程（平成25年文部科学大臣告示第133号）」8月30日に公布・施行（8月）

2014年（平成26年）

■「職業実践専門課程」初年度（平成25年度）は全国472校1373学科でスタート（官報告示）（3月）

■教育再生実行会議が第5次答申に「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化」盛り込む（7月）

■文部科学省が「新高等教育機関の制度化に関する有識者会議」設置（10月）

2015年（平成27年）

■実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する有識者会議（座長：黒田壽二 金沢工業大学学園長・総長）が「審議のまとめ」を公表。「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の創設」を提言し、新たな機関を既存の大学等と比肩する高等教育機関と位置付ける必要性から、新機関を大学体系の中に位置づける方向を基本としている（3月）

■下村博文文部科学大臣が中央教育審議会に「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」の制度化について諮問。具体的な諮問事項は「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について」（4月）

■中央教育審議会に「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」の制度化を検討する特別部会設置（部会長：永田恭介 筑波大学学長）、新機関の制度設計スタート（5月）

■専修学校制度制定40周年記念式典開催（7月）



「職業実践専門課程」リーフレット（文部科学省）

2019年（平成31年）

■「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」（（仮称）専門職大学）創設か？（4月）

参考：専門学校新聞 2015年（平成27年）8月10日「年表と写真で綴る専修学校制度40年の歩み」

平成22年度（2010年）

工業高校との教育連携の一環として研修会を実施した。

日 時：平成22年11月19日(金)

場 所：専門学校中央工学校（STEP）

参 加：会員校19校：32名・工業高校11校 17名・その他 2名

概 要：「東京スカイツリー 建設工事記録」(株)大林組の他
会員校活動報告3校・工業高校研究事例発表 1校



平成23年度（2011年）

教員研修の一環と会員相互の親睦を図ることを目的として研修会を実施した。

日 時：平成23年11月26日(土)

場 所：京都市 西本願寺飛雲閣 他 見学

参 加：会員校13校：18名



平成24年度（2012年）

会員校に加え、全国高等学校建築教育連絡協議会からの研修発表会を行った。

日 時：平成24年11月9日(金)

場 所：専門学校東京テクニカルカレッジ

参 加：会員校 17校：35名・工業高校9名

概 要：会員校活動報告4校・工業高校研究事例発表



平成25年度（2013年）

教員研修の一環と会員相互の親睦を図ることを目的として研修会を実施した。

日 時：平成25年11月30日(土)

場 所：京都市 京都市指定有形文化財

野口家住宅 「花洛庵」

参 加：会員校10校：20名・工業高校1校（1名）



平成26年度（2014年）

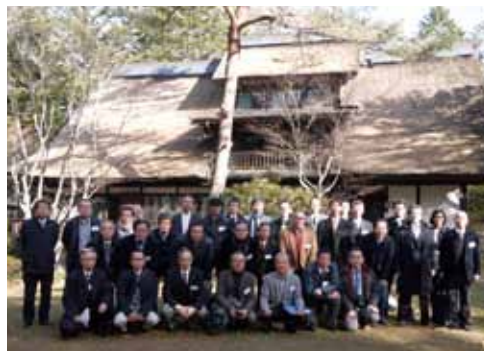
工業高校及び企業との連携及び教員研修の一環として、日本文化に対する研修会を実施した。

日 時：平成26年11月22日(土)・23日(日)

場 所：専門学校中央工学校 南ヶ丘倶楽部

（三五荘・茶苑 南暁・能舞台他施設見学）

参 加：会員校12校：25名・工業高校4名・その他8名



三五荘

軽井沢研修施設内にある「三五荘」は国登録有形文化財であり、約180年前の豪農の家を移築・改修したものです。名は最初に移築・竣工したのが、1935年であったことに由来します。



南暁

南暁は、小間「大庵」、多人数でお茶を楽しむための広間、履き物のまま茶の湯を味わえる立礼席などを擁し、様々な茶会に対応できる様設けてあります。小間「大庵」は、千利休が大坂城に設計し、幻の茶室といわれた「深三畳台目」を復元したものです。



能舞台

100畳敷きの大広間に総桧造りの舞台。音響・照明も本格的な設備を整え、能舞台としてはもちろん、日本舞踊・雅楽・狂言など、日本の伝統芸能の公演や集中稽古の場として活用することができます。



南ヶ丘美術館



千住博美術館



風越公園軽井沢アイスパーク



セゾン現代美術館



専門学校卒業作品展示会ポスターコンテスト優秀作品

2001年第1回～2010年第10回専門学校卒業作品展示会ポスター

第1回～10回ポスターは
専門学校東京テクニカルカレッジ建築科が製作



2001年第1回
平沼 かおり



2002年第2回
平沼 かおり



2003年第3回
平沼 かおり



2004年第4回
平沼 かおり



2005年第5回
松島 史樹



2006年第6回
ゾハ マムウンズ



2007年第7回
鈴木 将弓



2008年第8回
本間 康宏

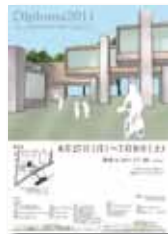


2009年第9回
古田島 悠



2010年第10回
飯淵 恵美子

専門学校卒業作品展示会の広報ポスターコンテストは第10回を区切りとして、第11回目よりコンテスト形式として記念すべき新たな一歩になるようにコンテストが実施されました。



最優秀賞：佐藤 孔聖
(日本工学院専門学校)



優秀賞：荒木 貴裕
(中央工学校 OSAKA)



優秀賞：高木 美佐
(読売理工医療福祉専門学校)

2011年4月11日 第11回専門学校卒業作品展示会 ポスターコンテスト

応募作品数：42作品 参加校総数：7校
青山製図専門学校／筑波研究学園専門学校／専門学校中央工学校／中央工学校 OSAKA／読売理工医療福祉専門学校／日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校



最優秀賞：山本 晴香
(日本工学院専門学校)



優秀賞：中村 建一郎
(専門学校中央工学校)



優秀賞：藍田 実
(日本工学院八王子専門学校)

2012年4月16日 第12回専門学校卒業作品展示会 ポスターコンテスト

応募作品数：86作品 参加校総数：7校
筑波研究学園専門学校／専門学校中央工学校／中央工学校 OSAKA／読売理工医療福祉専門学校／日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ



最優秀賞：青柳 秀明
(専門学校東京テクニカルカレッジ)



優秀賞：梶原 聖子
(専門学校中央工学校)



優秀賞：吉住 悠司
(筑波研究学園専門学校)

2013年4月9日 第13回専門学校卒業作品展示会 ポスターコンテスト

応募作品数：86作品 参加校総数：8校
筑波研究学園専門学校／専門学校中央工学校／中央工学校 OSAKA／読売理工医療福祉専門学校／日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／青山製図専門学校

2014年4月9日 第14回専門学校卒業作品展示会ポスターコンテスト

応募作品数:60作品 参加校総数:8校

筑波研究学園専門学校／専門学校中央工学校／中央工学校 OSAKA／読売理工医療福祉専門学校／日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／浅野工学専門学校



最優秀賞
星谷 啓太(日本工学院専門学校)



優秀賞
伊藤 裕輔(専門学校中央工学校)



佳 作:宮澤 憲生
(専門学校東京テクニカルカレッジ)



佳 作:鈴木 優人
(浅野工学専門学校)



佳 作:平澤 孝容
(日本工学院専門学校)

2015年4月6日 第15回専門学校卒業作品展示会ポスターコンテスト

応募作品数:71作品 参加校総数:7校

筑波研究学園専門学校／専門学校中央工学校／読売理工医療福祉専門学校／日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校／青山製図専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ



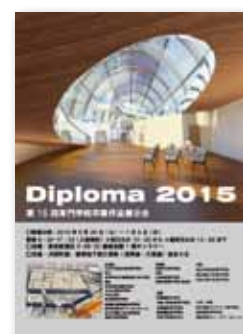
最優秀賞
五味 力(日本工学院専門学校)



優秀賞
鈴木 里佳子(専門学校中央工学校)



佳 作:植松 駿介
(専門学校中央工学校)



佳 作:李 旭坤
(青山製図専門学校)

専門学校卒業作品展示会

平成27年 第15回 専門学校卒業作品展示会



6月22日(月)～7月4日(土)
建築会館1階ギャラリー

作品出展参加会員校 (16校) 28作品

専門学校WIZ国際情報工科大学校／筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／東海工業専門学校 金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／岡山理科大学専門学校／麻生建築&デザイン専門学校



2014
第14回

平成26年6月23日(月)～7月5日(土)

作品出展参加会員校 (17校) 31作品

日本工学院北海道専門学校／専門学校WIZ国際情報工科大学校／筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／東海工業専門学校 金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／岡山理科大学専門学校／麻生建築&デザイン専門学校



2013
第13回

平成25年6月24日(月)～7月6日(土)

作品出展参加会員校 (16校) 23作品

日本工学院北海道専門学校／専門学校WIZ国際情報工科大学校／筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／東海工業専門学校 金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／麻生建築&デザイン専門学校



2012
第12回

平成24年6月25日(月)～7月7日(土)

作品出展参加会員校 (22校) 34作品

青山建築デザイン・医療事務専門学校／日本工学院北海道専門学校／専門学校WIZ国際情報工科大学校／筑波研究学園専門学校／宇都宮日建工科専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京日建工科専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／横浜日建工科専門学校／新潟工科専門学校／浜松日建工科専門学校／東海工業専門学校 金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／岡山理科大学専門学校／麻生建築&デザイン専門学校



2011
第11回

平成23年6月27日(月)～7月9日(土)

作品出展参加会員校 (19校) 34作品

青山建築デザイン・医療事務専門学校／日本工学院北海道専門学校／専門学校WIZ国際情報工科大学校／筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京日建工科専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／東海工業専門学校 金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／岡山理科大学専門学校／麻生建築&デザイン専門学校



2010
第10回

平成22年6月28日(月)～7月10日(土)

作品出展参加会員校 (21校)

青山工学・医療専門学校／日本工学院北海道専門学校／専門学校WIZ国際情報工科大学校／筑波研究学園専門学校／千葉日建工科専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京工科専門学校／東京日建工科専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／東海工業専門学校 金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／岡山理科大学専門学校／麻生建築&デザイン専門学校





平成21年6月29日(月)～7月11日(土)

作品出展参加会員校(21校)

青山工学・医療専門学校／専門学校国際情報工科大学校／筑波研究学園専門学校／千葉日建工科専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京工科専門学校／東京日建工科専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／東海工業専門学校金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／岡山理科大学専門学校／麻生建築&デザイン専門学校

2009
第9回

平成20年6月30日(月)～7月12日(土)

作品出展参加会員校(21校)

青山工学・医療専門学校／国際情報工科専門学校／筑波研究学園専門学校／国際理工専門学校／千葉日建工科専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京建築専門学校／東京工科専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／北陸工業専門学校／東海工業専門学校金山校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央工学校 OSAKA／岡山理科大学専門学校

2008
第8回

平成19年7月2日(月)～7月14日(土)

作品出展参加会員校(15校)

青山工学・医療専門学校／国際情報工科専門学校／筑波研究学園専門学校／国際理工専門学校／千葉日建工科専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京建築専門学校／東京工科専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校

2007
第7回

平成18年7月3日(月)～7月15日(土)

作品出展参加会員校(12校)

青山工学・医療専門学校／筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京建築専門学校／東京工科専門学校／読売理工医療福祉専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校

2006
第6回

2004年 第4回

2005年 第5回

平成17年10月11日(月)～10月22日(土)

作品出展参加会員校(18校)

筑波研究学園専門学校／国際工学専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京工科専門学校／読売東京理工専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工科専門学校／北陸工業専門学校／名古屋環境建設専門学校／大阪工業技術専門学校／修成建設専門学校／中央実務専門学校／岡山理科大学専門学校

2005
第5回

平成16年6月28日(月)～7月10日(土)

作品出展参加会員校(11校)

筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／青山製図専門学校／東京建築専門学校／東京工科専門学校／読売東京理工専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工学専門学校

2004
第4回

平成15年6月30日(月)～7月12日(土)

作品出展参加会員校(19校)

青山工学・医療専門学校／筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／専門学校中央工学校／青山製図専門学校／東京建築専門学校／東京工科専門学校／読売東京理工専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工学専門学校

2003
第3回

平成14年7月1日(月)～7月13日(土)

作品出展参加会員校(12校)

青山工学院専門学校札幌校／筑波研究学園専門学校／日本工学院専門学校／青山製図専門学校／東京建築専門学校／東京工科専門学校／読売東京理工専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／日本工学院八王子専門学校／浅野工学専門学校／新潟工学専門学校

2002
第2回

平成13年4月21日(土)～5月8日(火)

作品出展参加会員校(9校)

青山製図専門学校／浅野工学専門学校／専門学校東京テクニカルカレッジ／東京建築専門学校／東京工科専門学校／専門学校中央工学校／日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校／読売東京理工専門学校

2001
第1回

全国専門学校建築教育連絡協議会 研修発表会

年 度	学校名	発表者	テーマ
平成 18 年	専門学校中央工学校	山田 和則	婦恋村古民家再生プロジェクト
	日本工学院八王子専門学校	渋谷 雄一	ものづくり工房における実践的建築教育
	新潟工科専門学校	仁多見 透	閉じた命の「ツクル心」で新しい命を（再生）
	浅野工学専門学校	高橋 茂男	4年制建築工学科が大学院に合格
平成 20 年	新潟工科専門学校	遠藤 聡	老人の為のコミュニケーション広場をつくる
	大阪工業技術専門学校	左海 晃志	実践的教育プログラムとしての住宅建設事例報告
	修成建設専門学校	山元 辰治	平成生まれの学生に対する体験入学指導について
	中央工学校 OSAKA	平上 秀明	地域との関わりによる教育活動の展開
平成 21 年	千葉日建工科専門学校	宇野 浩生	ゼミナール
	専門学校中央工学校	松田 正之	建築系高校生対象コンペティションについて
	青山製図専門学校	新井 長秀	教育現場におけるクレマーの実例について
	日本工学院八王子専門学校	渋谷 雄一	建築デザイン研究科におけるプロジェクト型デザイン教育
	麻生工科デザイン専門学校	今泉 清太	学生管理の取組みについて
平成 22 年	東海工業専門学校金山校	宇土 知里	学生に対するメンタルケアの実態と問題点
	修成建設専門学校	山元 辰治	学生募集・学校説明会・体験授業 ゆとり教育世代
	専門学校東京テクニカルカレッジ	杉本 安雄	教育効果測定 専門実力試験 即日設計と CAD 化
	大阪工業技術専門学校	金子 和宏	新たな技能教育に関する模索
	日本工学院専門学校	清水 憲一	ものづくりの将来を担う人材育成
秋季研修会	日本工学院八王子専門学校	上田 耕作	日本工学院実践型建築教育の成果
	専門学校東京テクニカルカレッジ	杉本 安雄	教育効果測定 専門実力試験 即日設計と CAD 化
	専門学校中央工学校	松田 正之	工業高校との教育連携
	東日本建築教育研究会 (群馬県立館林商工高校)	根岸 俊行	建築法規における教材（問題集とワークノート）作成について
平成 23 年	日本工学院八王子専門学校	山野 大星	日本工学院のサウジアラビアへの技術職業教育協力
	東京日建工科専門学校	田中 靖也	平成 22 年度ヨーロッパ研修引率報告
	浅野工学専門学校	加藤 直樹	温室効果ガス削減能力をもつ工業系技術者の養成
	新潟工科専門学校	仁多見 透	実店舗のデザイン計画
平成 24 年	修成建設専門学校	山元 辰治	構造実験を通じて工業高校・専門学校・大学との交流
	中央工学校 OSAKA	平上 秀明	産学連携教育活動の報告
	大阪工業技術専門学校	大西 崇之	産学官連携の取組み事例
平成 25 年	専門学校東京テクニカルカレッジ	今野 祐二	中野区東中野地域調査と新しい街づくりの提案
	東海工業専門学校金山校	野村 種明	中国教育職員研修受入れ報告
	新潟工科専門学校	野口 信彦	学生の手によるリノベーション
平成 26 年	専門学校東京テクニカルカレッジ	野上 和裕	建築・インテリア海外研修の効果
	東海工業専門学校金山校	野村 種明	『建設業界 PR』東工専の取組み
	中央工学校 OSAKA	平上 秀明	デルルームコンペ株式会社レンタックス×中央工学校 OSAKA
	修成建設専門学校	宮崎 宗久	中之島/バンクス de sign de > と提携した教育活動についての報告
平成 27 年	専門学校東京テクニカルカレッジ	白井 雅哲	履修改革とリアルジョブプロジェクト (RJP)
	麻生建築&デザイン専門学校	今泉 清太	BIM 授業への取組
	新潟工科専門学校	仁多見 透	建築の技術を活かした地域活性化への貢献



平成27年6月13日(土)
専門学校東京テクニカルカレッジ

平成27年 教育活動報告会

「建築の技術を活かした地域活性化への貢献」

新潟工科専門学校 校長 仁多見 透



荻ノ島家屋再生連携協定

荻ノ島地域協議会と新潟工科専門学校が協定 建築大工科2年生19名がリフォームを協力



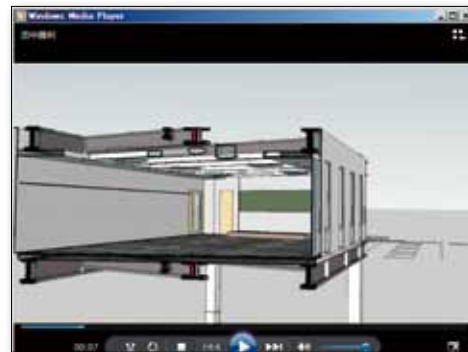
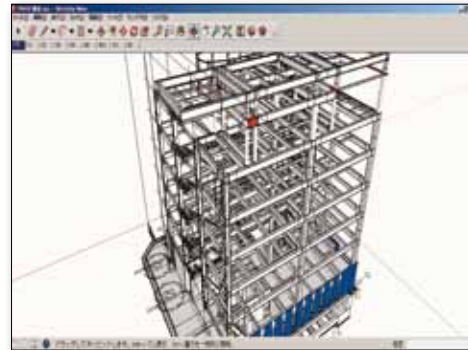
平成26年5月17日 新潟日報朝刊掲載

平成26年5月9日 新潟日報朝刊掲載

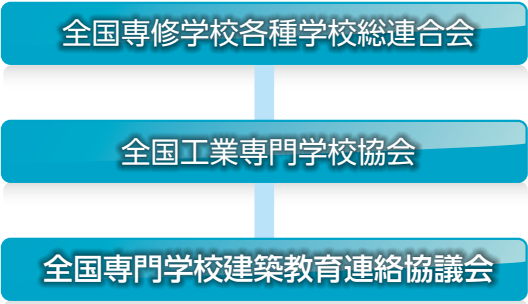


「BIM授業への取組」

麻生建築&デザイン専門学校 建築系主任 今泉 清太



■組織図



平成7・8年度

役 職		氏 名	学校名
会 長		鎌谷 秀男	修成建設専門学校
副会長		田中 英之介	専門学校中央工学校
		平川 玄治	修成建設専門学校
幹事	常任幹事	豊田 正敏	読売東京理工専門学校
		鷹部屋 亮平	浅野工学専門学校
		古川 勝久	修成建設専門学校
		杉谷 一	大阪工業技術専門学校
		春日 泰	専門学校中央工学校
	幹 事	中島 孝明	工学院大学専門学校
		大石 満	東京工科専門学校
		橋本 チイ子	東洋工学専門学校
		向後 美明	日本情報処理専門学校
		石引 国昭	専門学校中央工学校
監 事		田中 隆	中央実務専門学校
		袴田 貢司	東京工科専門学校

平成9・10年度

役 職		氏 名	学校名
会 長		福田 益和	大阪工業技術専門学校
副会長		豊田 正敏	読売東京理工専門学校
		平川 玄治	修成建設専門学校
		幹事	常任幹事
		高橋 茂男	浅野工学専門学校
		春日 泰	専門学校中央工学校
		井上 一善	大阪工業技術専門学校
		河野 久夫	読売福岡理工専門学校
	幹 事	宮本 尚彦	札幌理工学院専門学校
		中島 孝明	工学院大学専門学校
		中田 正二	東京工科専門学校
		舟生 吉弘	東洋工学専門学校
		石引 国昭	専門学校中央工学校
		加藤 忠	浅野工学専門学校
		市村 幸雄	新潟工科専門学校
		※中川 茂	10年度より変更
		本田 昌義	金沢デザイン建築専門学校
		古川 勝久	修成建設専門学校
		平嶋 広幸	専門学校湖東カレッジ
監 事		樽田 貢司	専門学校東京テクニカルカレッジ
		田中 隆	中央実務専門学校
相談役		田中 英之介	専門学校中央工学校

平成11・12年度

役 職		氏 名	学校名
会 長		福田 益和	大阪工業技術専門学校
副会長		豊田 正敏	読売東京理工専門学校
		平川 玄治	修成建設専門学校
幹事	常任幹事	藤井 敬次郎	北海道中央工学院専門学校
		高橋 茂男	浅野工学専門学校
		松本 雄二	専門学校中央工学校
		井上 一善	大阪工業技術専門学校
		平嶋 道行	読売福岡理工専門学校
	幹 事	加藤 光夫	札幌理工学院専門学校
		小野 伸雄	工学院大学専門学校
		中田 正二	東京工科専門学校
		舟生 吉弘	東洋工学専門学校
		堀口 一秀	専門学校中央工学校
		加藤 忠	浅野工学専門学校
		横山 彰	新潟工科専門学校
		本田 昌義	金沢デザイン建築専門学校
		高谷 武	修成建設専門学校
		平嶋 広幸	専門学校湖東カレンジ
監 事		三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
		田中 隆	中央実務専門学校

平成13・14年度

役 職		氏 名	学校名
会 長		福田 益和	大阪工業技術専門学校
副会長		豊田 正敏	読売東京理工専門学校
		平川 玄治	修成建設専門学校
幹事	常任幹事	藤井 敬次郎	北海道中央工学院専門学校
		高橋 茂男	浅野工学専門学校
		松本 雄二	専門学校中央工学校
		月形 秀和	大阪工業技術専門学校
		三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
	幹 事	加藤 光夫	札幌理工学院専門学校
		小野 伸雄	工学院大学専門学校
		堀口 一秀	専門学校中央工学校
		加藤 忠	浅野工学専門学校
		横山 彰	新潟工科専門学校
		本田 昌義	専門学校ESSEテクノカレッジ
		高谷 武	修成建設専門学校
監 事		田中 隆	中央実務専門学校
		李 正浩	東京工科専門学校

平成15・16年度

役 職		氏 名	学校名
会 長		平川 玄治	修成建設専門学校
副会長		豊田 正敏	読売東京理工専門学校
		高橋 茂男	浅野工学専門学校
幹事	常任幹事	岩田 誠司	札幌建築デザイン専門学校
		松本 雄二	専門学校中央工学校
		月形 秀和	大阪工業技術専門学校
		三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
	幹 事	小野 伸雄	工学院大学専門学校
		堀口 一秀	専門学校中央工学校
		加藤 忠	浅野工学専門学校
		横山 彰	新潟工科専門学校
		本田 昌義	専門学校ESSEテクノカレッジ
		高谷 武	修成建設専門学校
		村上 竹久	日本工学院専門学校
監 事		李 正浩	東京工科専門学校
		中野 吉晟	中央実務専門学校
相談役		福田 益和	大阪工業技術専門学校

平成 17・18 年度

役 職	氏 名	学校名
会 長	平川 玄治	修成建設専門学校
副会長	豊田 正敏	読売理工医療福祉専門学校
	高橋 茂男	浅野工学専門学校
幹事	常任幹事	岩田 誠司
		松本 雄二
		月形 秀和
		三上 孝明
		三上 孝明
	幹 事	小野 伸雄
		堀口 一秀
		加藤 忠
		遠藤 聡
		志受 良仁
		高谷 武
		村上 竹久
		山野 大星
		李 正浩
		中野 吉晟
		福田 益和
		福田 益和
		福田 益和

平成 19・20 年度

役 職	氏 名	学校名
会 長	高橋 茂男	浅野工学専門学校
副会長	月形 秀和	大阪工業技術専門学校
	堀口 一秀	専門学校中央工学校
幹事	常任幹事	豊田 正敏
		三上 孝明
		山元 辰治
		山野 大星
		平上 秀明
	幹 事	松本 雄二
		原 真佐也
		遠藤 聡
		村上 竹久
		讃岐谷 昭雄
		笠田 博
		花房 宏行
		湯浅 康生
		新井 長秀
		新井 長秀
		新井 長秀
		新井 長秀
監 事	李 正浩	東京工科専門学校
	中野 吉晟	中央工学校 OSAKA
相談役	福田 益和	大阪工業技術専門学校
	平川 玄治	修成建設専門学校

平成 21・22 年度

役 職	氏 名	学校名
会 長	堀口 一秀	専門学校中央工学校
副会長	月形 秀和	大阪工業技術専門学校
	三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
幹事	常任幹事	山野 大星
		山元 辰治
		平上 秀明
		松田 正之
		高橋 茂男
	幹 事	笠田 博
		花房 宏行
		湯浅 康生
		新井 長秀
		廣瀬 幸男
		大野 克典
		宗村 功
		仁多見 透
		鈴木 茂樹
		豊田 正敏
		杉本 安雄
		中野 吉晟
		中野 吉晟
監 事	杉本 安雄	専門学校東京テクニカルカレッジ
	中野 吉晟	中央工学校 OSAKA
相談役	福田 益和	大阪工業技術専門学校
	平川 玄治	修成建設専門学校

平成 23・24 年度

役 職	氏 名	学校名
会 長	堀口 一秀	専門学校中央工学校
副会長	三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
	山元 辰治	修成建設専門学校
幹事	常任幹事	山野 大星
		平上 秀明
		尾林 徹
		宗村 功
		松田 正之
	幹 事	左海 晃志
		笠田 博
		湯浅 康生
		新井 長秀
		廣瀬 幸男
		大野 克典
		仁多見 透
		鈴木 茂樹
		原 真佐也
		杉本 安雄
		中野 吉晟
		福田 益和
		福田 益和
監 事	杉本 安雄	専門学校東京テクニカルカレッジ
	中野 吉晟	中央工学校 OSAKA
相談役	福田 益和	大阪工業技術専門学校
	福田 益和	大阪工業技術専門学校

平成 25・26 年度

役 職	氏 名	学校名
会 長	三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
副会長	山元 辰治	修成建設専門学校
	松田 正之	専門学校中央工学校
幹事	常任幹事	山野 大星
		平上 秀明
		尾林 徹
		宗村 功
		仁多見 透
	幹 事	左海 晃志
		湯浅 康生
		新井 長秀
		大野 克典
		鈴木 茂樹
		原 真佐也
		清水 憲一
		今野 祐二
		今野 祐二
		今野 祐二
		今野 祐二
		今野 祐二
		今野 祐二
監 事	豊田 正敏	読売理工医療福祉専門学校
	堀口 一秀	専門学校中央工学校

平成 27・28 年度

役 職	氏 名	学校名
会 長	三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
副会長	松田 正之	専門学校中央工学校
	山野 大星	日本工学院八王子専門学校
幹事	常任幹事	平上 秀明
		尾林 徹
		宗村 功
		仁多見 透
		堤下 隆司
	幹 事	湯浅 康生
		大野 克典
		鈴木 茂樹
		原 真佐也
		清水 憲一
		吉田 裕彦
		新井 長秀
		今泉 清太
		今野 祐二
		今野 祐二
		今野 祐二
		今野 祐二
		今野 祐二
監 事	豊田 正敏	読売理工医療福祉専門学校
	堀口 一秀	専門学校中央工学校

会員校一覧

平成27年10月現在

北海道

日本工学院北海道専門学校	〒059-8601 北海道登別市札内町184-3	0143-88-0888
--------------	--------------------------	--------------

東北

専門学校WiZ国際情報工科大学校	〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-15	024-956-0030
------------------	---------------------------	--------------

関東

筑波研究学園専門学校	〒300-0811 茨城県土浦市上高津1601	029-822-2452
日本工学院専門学校	〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22	03-3732-1367
専門学校中央工学校	〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17	03-3906-1211
青山製図専門学校	〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-9	03-3462-1441
読売理工医療福祉専門学校	〒108-0014 東京都港区芝5-26-16	03-3455-0221
専門学校東京テクニカルカレッジ	〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3	03-3360-8881
日本工学院八王子専門学校	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1	042-637-3111
浅野工学専門学校	〒221-0012 神奈川県横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-0403

甲信越

新潟工科専門学校	〒950-0932 新潟県新潟市中央区長潟2-1-4	025-287-3911
----------	----------------------------	--------------

東海

日本建築専門学校	〒418-0103 静岡県富士宮市上井出2730-5	0544-54-1541
東海工業専門学校 金山校	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-7-19	052-332-6211

近畿

京都建築大学校	〒622-0041 京都府船井郡園部町小山東町二本松1-17	0771-63-1010
大阪工業技術専門学校	〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1-8-24	06-6352-0091
大阪建設専門学校	〒530-0052 大阪府大阪市北区南扇町3-21	06-6314-0261
修成建設専門学校	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30	06-6474-1644
中央工学校 OSAKA	〒561-0872 大阪府豊中市寺内1-1-43	06-6866-0800

中国

岡山科学技術専門学校	〒700-0032 岡山県岡山市昭和町8-10	086-255-7171
岡山理科大学専門学校	〒700-0003 岡山県岡山市半田町8-3	086-228-0383
広島工業大学専門学校	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1	082-295-5111

九州・沖縄

麻生建築&デザイン専門学校	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13	092-415-2292
福岡建設専門学校	〒811-0053 福岡市東区箱崎6-15-34	092-651-2516
専修学校サイ・テク・カレッジ	〒904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-5-16	098-865-2800

会員校MAP

創立20周年記念誌

平成27年10月現在

 日本工学院北海道専門学校

北海道

 専門学校
国際情報工科大学校

福島県

 新潟工科専門学校

新潟県

 日本建築専門学校
INSTITUTE OF TRADITIONAL JAPANESE ARCHITECTURE

静岡県

 学校法人 電波学園
東海工業専門学校金山校

愛知県

 KASD 学校法人 二本松学院
京都建築大学校

京都府

 学校法人 筑波研究学園
筑波研究学園専門学校

茨城県

 中央工学校

 日本工学院専門学校

 日本工学院八王子専門学校

 青山製図専門学校

 学校法人 読売理工学院
読売理工医療福祉専門学校

 Collaboration ◆ Communication
専門学校 東京テコニカルカレッジ

東京都

 横浜で本物を学ぶ「浅野の建築」
浅野工学専門学校

神奈川県

学校法人 福田学園
大阪工業技術専門学校
OSAKA COLLEGE OF TECHNOLOGY

学校法人 西沢学園グループ
大阪建設専門学校

 学校法人 修成学園
修成建設専門学校

 学校法人 中央工学校
中央工学校 OSAKA

大阪府

 RiSEN 岡山理科大学専門学校
 KAGISEN 岡山科学技術専門学校

岡山県

 HITP 広島工業大学専門学校
Hiroshima Institute of Technology Polytechnic

広島県

麻生専門学校グループ
Design your future 世界で活躍する、自分の未来を
麻生建築&デザイン専門学校
ASO ARCHITECTURE AND DESIGN COLLEGE

 F C 福岡建設専門学校
Fukuoka Construction College

福岡県

 サイ・テク・カレッジ

沖縄県

全国専門学校建築教育連絡協議会 20周年を迎える
記念事業として、記念誌を発行する運びとなりました。

発行に当たり、ご多忙中執筆していただいた方々、
資料を作っていただいた方々、過去の写真やデータを
探していただいた方々、約半年という短い期間で編集
作業を進めなければならず、無理をお願いしてしまい
ご迷惑をおかけしました、おかげで皆様のご協力によ
り記念誌を発行することが出来ました、誠にありがと
うございます。

20年の情報は膨大で、紛失してしまったものや、不明
な物もあり、全ての記事や写真を載せることが出来ませ
んでしたが、20年間の歩を思い出していただければ、
ありがたく思います。

平成27年11月吉日

全国専門学校建築教育連絡協議会

20周年事業実行委員会

平成27年11月20日発行

発行／全国専門学校建築教育連絡協議会

東京テクニカルカレッジ内

事務局 今野 祐二

東京都中野区東中野4-2-3 TEL:03-3360-8881

企画・編集／全国専門学校建築教育連絡協議会

読売理工医療福祉専門学校

尾林 徹

編集協力

制作・印刷／ Assist ONE 秋山 久夫

